

平成 22 年度

# 事業計画書



公益財団法人 足立区生涯学習振興公社

## 目 次

公社経営方針	1
定款事業別体系図	2
事業区分別事業計画	4
公社概要	13
組織図	13

## 公社経営方針

平成20年12月に公益法人制度改革関連三法が施行され、当公社は公益財団法人への移行認定を目指して準備を進め、平成21年9月29日付で都知事の認定を受け、平成21年10月1日付で「公益財団法人 足立区生涯学習振興公社」として設立登記を行った。

新法人は、幼児から高齢者まで広くあだち区民の文化及びスポーツ並びに学習の体験や機会を提供するとともに、人材育成や自主活動を支援する事業を行い、生涯学習のネットワーク化を図ることにより生涯学習を推進し、いきいきとした地域社会の創造に寄与することを目的と定めている。

平成22年度の事業計画及び予算編成に当たっては、公益財団法人への移行認定を踏まえて、地域での文化・スポーツ・学習活動を結び合わせて相乗効果を生み出す「地域ネットワーク」形成を重視し、公社のもつ経営資源を最大限活用することにより、生き生きとした地域社会を築くことをめざした事業を構築する。

事業の実施、予算執行に際しては、より一層の効率的な運営を図り、より広く区民へのサービスの向上に努める。

### 重点事項

#### ① あだち放課後子ども教室の開設及び運営支援に重点的に取り組む

区と連携し、区立小学校を拠点としたあだち放課後子ども教室の開設・運営支援を引き続き公社の主要事業として位置づける。

全小学校72校中、平成21年度末67校、平成22年度5校の開設を予定しているが、平成22年度は学校、地域、関係者の更なる理解と協力を得ながら、実施日数・実施会場の拡大等、事業の充実を図っていく。

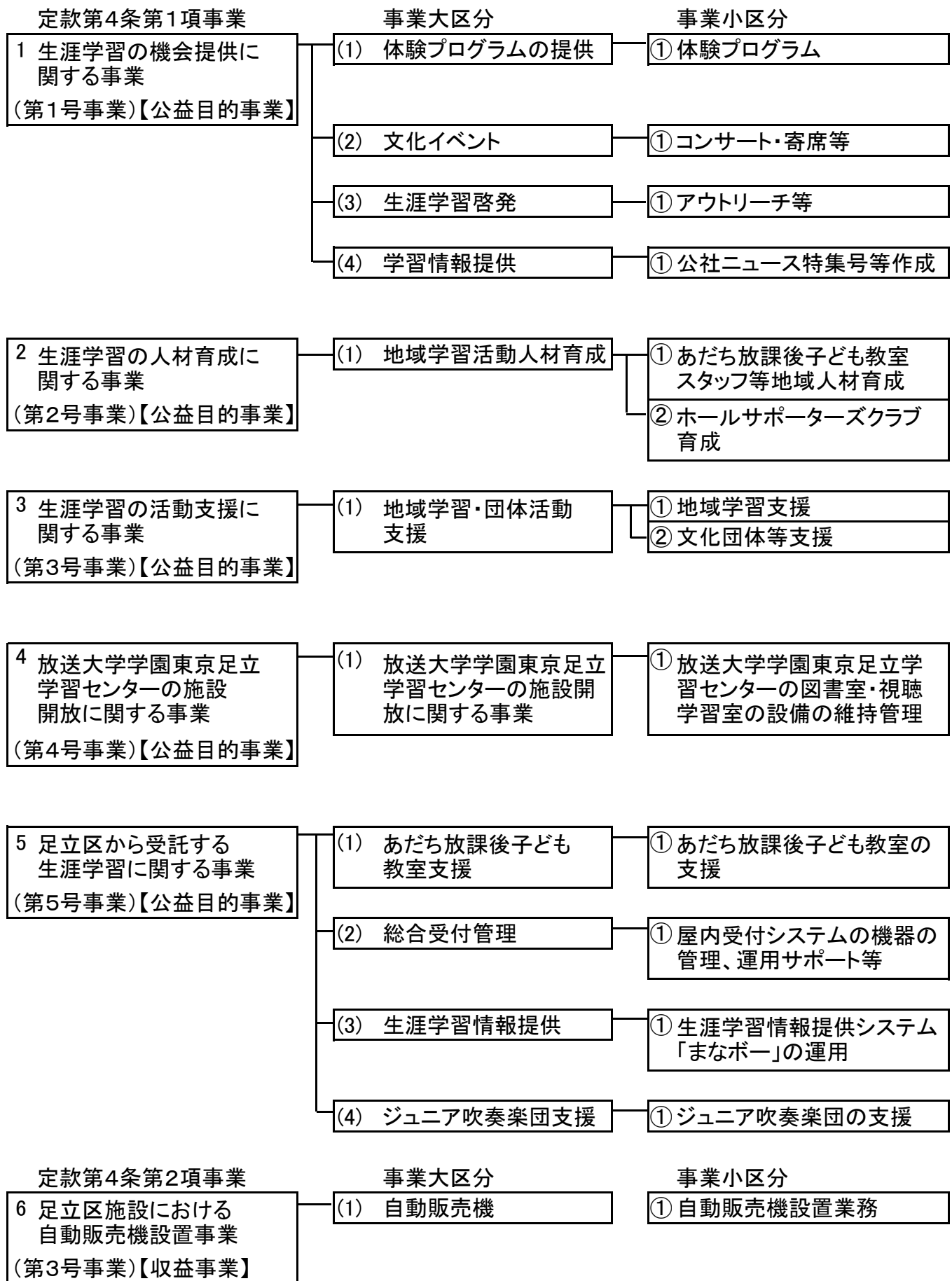
#### ② 区民に文化・学習・スポーツの豊かな体験機会を提供する

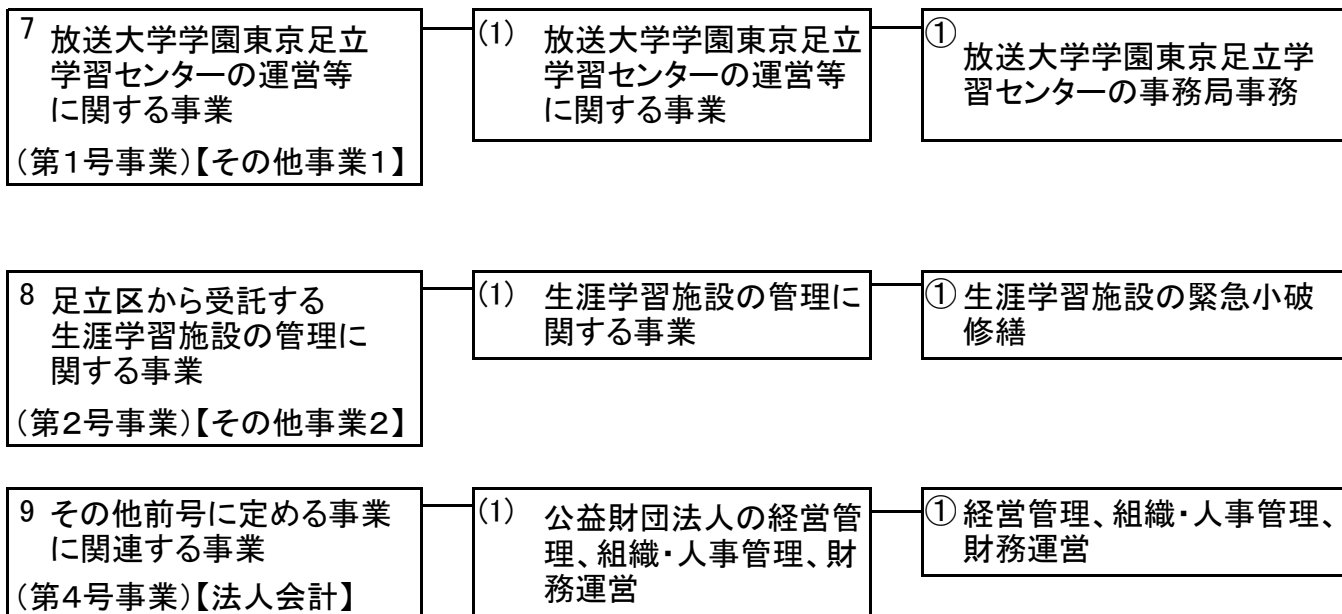
公社の自主財源を投入し、あだち放課後子ども教室体験プログラムなど生涯学習の学習機会を提供していく。また、区民一人一人が文化芸術に楽しみ、関心を持つ区民を増やし、文化芸術の薫り高い活力ある地域社会の形成を推進する。更に、地域の団体やグループ等の事業をコーディネートすることを通じ、地域活動の支援と連携、人材育成等に寄与する。

#### ③ 公益財団法人として、法令等に基づく的確な法人運営を行う

今回の公益法人制度改革に伴い、法令等により明確に定められた公益認定基準やガバナンス（内部統治）等に適合した法人運営を行う。

# 平成22年度 定款事業別体系図





## 事業区分別事業計画

### 1 生涯学習の機会提供に関する事業 (定款第4条第1項第1号事業) 【公益目的事業】

(1) 体験プログラムの提供		予算額	
		2,454 千円	
目的	<p>子どもの安全・安心に集える居場所として、放課後の小学校施設を活用し、学習・スポーツ等の体験活動の場を提供する。</p> <p>体験活動を通じて、様々な分野への興味を深めるとともに、運動能力や体力を高めたり、新たな遊びの発想に活かすなど、子どもたちが、自ら学ぶ力を身につけさせていく。</p>		
22年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
読み語りキャラバン コーディネーショントレーニング レク&遊び体験 等	通年	35 回	各あだち放課後 子ども教室開設校他

(2) 文化イベント		予算額	
		41,358 千円	
目的	<p>文化芸術の潤いのある心豊かな区民生活の実現を図るため、広範なジャンルにわたる芸術性の高い優れた舞台芸術作品の鑑賞機会を提供し、芸術と地域社会の出会いを創出する。また、廉価で安定的に提供するとともに、各種助成制度等を利用し、芸術性と収益性の両立を図る。</p>		
22年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
<p>コンサート（クラシック、ポップス、タンゴ、ビッグバンド、邦楽、オーケストラ他）</p> <p>寄席（春風亭小朝、柳家小三治、立川談春、立川志の輔他）</p> <p>子ども劇（平常、劇団東少、劇団銀河鉄道他）</p> <p>演劇（月猫えほん音楽会）</p> <p>その他（米村でんじろう他）</p>	通年	28 回	西新井文化ホール

(3) 生涯学習啓発		予算額	
		4,188 千円	
目的	芸術普及活動(アウトリーチ活動)を展開し、これまで文化芸術に触れる機会が少なかった区民に対して、様々な働きかけを行い、音楽や芸術や文化施設への興味を喚起する。文化芸術の無関心層を関心層・支持層へと移行させていくことにより、文化の薫り高い活力ある地域社会の形成を推進する。		
22年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
エントランスコンサート	通年	5 回	西新井文化ホール 他
バックステージツアー	通年	5 回	
アウトリーチコンサート	通年	2 回	
サテライトコンサート	通年	2 回	
スチューデントプロデュースコンサート	3月	1 回	
スチューデントプロデュースコンサートミーティング	通年	50 回	
エントランスアニバーサリーコンサート	6月	1 回	

(4) 学習情報提供		予算額	
		17,009 千円	
目的	毎月発行の公社ニュース「ときめき」にて、公社自主事業文化イベント等の生涯学習情報を発信して行く。さらに生涯学習センター、地域学習センター、総合スポーツセンター、屋内プール等の講座情報を集約し情報を発信していく。また公社ニュース特集号では、公社事業の取り組みやイベントなどの情報を、区民へ発信する。公社ホームページでは、公社の概要や事業案内などの情報を発信し、公社を広くPRする。		
22年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
公社ニュース「ときめき」への自主事業等情報発信	毎月1回	12 回	区内全戸配布他 (300,000部)
公社ニュース「ときめき」特集号の編集・発行 (公社事業特集)	不定期	3 回	
公社ホームページによる情報提供 区「あだち広報」への講座情報の編集	随時 毎月1回	12 回	

2 生涯学習の人材育成に関する事業  
 (定款第4条第1項第2号事業) 【公益目的事業】

(1) 地域学習活動人材育成		予算額	
		1,745 千円	
①あだち放課後子ども教室スタッフ等地域人材育成			
目的	「あだち放課後子ども教室事業」を円滑に運営するため、スタッフに危機管理や、より専門的な知識、技術のスキルアップを目的に研修の場を提供する。さらに事業の充実を図るため、「あだち放課後子ども教室サポーター」として地域の人材を発掘し、活動に必要な学習プログラムを学ぶ機会を提供し、事業をサポートする人材を育成する。		
22年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
あだち放課後子ども教室スタッフスキルアップ研修(危機管理等)	通年	8回	地域学習センター、各学校等
あだち放課後子ども教室全体講習会	7月	1回	
指導者養成(コーディネーショントレーニング)	9月	1回	
指導者スキルアップ(コーディネーショントレーニング他)	通年	20回	
あだち放課後子ども教室サポーター養成講座	通年	3回	
②ホールサポータークラブ育成			
目的	文化芸術や文化施設に関心を持つ区民からボランティアを募り、地域からのホール文化事業のサポート活動や、実際に文化事業を共に運営し、区民の自己実現を図る。さらに地域ホールを支持する区民を増やし、文化芸術の潤いのある心豊かな区民生活の実現と、文化芸術の薫り高い活力ある地域社会の形成を推進する。		
22年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
ホールサポーターによる下記活動 地域での文化事業宣伝活動 文化事業運営協力 文化事業企画提案 ホールサポーター会議、研修	通年		西新井文化ホール 他

3 生涯学習の活動支援に関する事業  
 (定款第4条第1項第3号事業) 【公益目的事業】

(1) 地域学習・団体活動支援		予算額	
		785 千円	
①地域学習支援			
目的	公社の事業ノウハウとネットワークを活用した事業コーディネートを通じて、区民が地域課題や現代的課題について主体的に考え学びあう機会を創出する。学習事業の企画立案は、地域団体や各種機関との連携を基本に行い、区民参画による学習活動を推進していく。		
22年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
地域団体・各種機関との連携講座	通年	10回	区内各所
地域学習コーディネート	通年		区内各所
②文化団体等支援			
目的	区民との協働により文化芸術の薫り高いまちづくりを推進するため、自主的な文化活動を行う区民や地域の芸術家及び団体とパートナーシップを持って、共に新しい区民文化を創造していく。 また、地域からの企画相談窓口を設置し、地域の芸術家を活用することにより文化振興に寄与する。		
22年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
足立吹奏楽団定期演奏会	5、2月	2回	西新井文化ホール
足立区民合唱団定期演奏会	8、1月	2回	
足立シティオーケストラ定期演奏会	9、3月	2回	
常笑気流歌劇団公演	8月	1回	
21世紀ADACHI芸術文化共同制作プロジェクト 歓喜の演V.O.L. 10	通年		
イベントコーディネート	通年		区内各所

**4 放送大学学園東京足立学習センターの施設開放に関する事業  
（定款第4条第1項第4号事業）【公益目的事業】**

(1) 放送大学学園東京足立学習センターの施設開放に関する事業		予算額	
		6,417 千円	
目的	放送大学東京足立学習センターは、区民が身近で高等教育を受ける機会を提供するため誘致した施設である。生涯学習の推進を目的とする公社が同センターの図書室・視聴学習室の管理を受託し、図書、映像資料整備と公社職員が窓口業務を行なうとともに、図書室・視聴学習室を学生に限らず広く区民に開放し、身近で使いやすい学習施設を提供することで区民の学習機会の拡大を図る。		
22年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
図書室、視聴学習室の設備の維持管理	通年		東京足立学習センター

**5 足立区から受託する生涯学習に関する事業  
（定款第4条第1項第5号事業）【公益目的事業】**

(1) あだち放課後子ども教室支援		予算額	
		261,369 千円	
目的	区が推進する「あだち放課後子ども教室」事業は、放課後の子どもの安全で安心な居場所を提供するものである。また、子ども同士の遊びや保護者を含む地域の交流・体験を通じて、心の豊かさや生きる力を育むことを目的としている。公社は、地域による事業運営を支援すると共に、更なる実施内容の拡充を目指すことで、放課後のより豊かな時間と空間を提供できる環境を整えていく。そのためには、公社がこれまで培ってきた事業ノウハウを十分に発揮し、各学校からの要望に応えられる体験活動の支援をはじめ、様々な体験学習等の機会を提供することで、「放課後子ども教室」事業の目的と公社が目指す、地域ネットワーク型生涯学習の推進の相乗効果を図っていく。		
22年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
あだち放課後子ども教室の支援	通年		区内各小学校
あだち放課後子ども教室の実施内容の拡充	通年		区内各小学校
安全管理講習会の実施	通年		区内各小学校
運営委員会支援	8、2月	2 回	生涯学習センター

(2) 総合受付管理		予算額	
		98,340 千円	
目的	区では生涯学習センター、地域学習センター、総合スポーツセンター、屋内プール等の各受付窓口をネットワークで結び、利用者の利便性を高めている。公社は、この予約システムのインフラ、PC等の機器の管理及び各受付窓口での利用情報の案内や学習室・体育館等の施設予約及び講座受付の運用サポートを受託する。		
22年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
屋内受付システム 機器の管理（消耗品含む） アプリケーション運用サポート 屋外受付システム チケット販売管理・運用	通年		

(3) 生涯学習情報提供		予算額	
		7,664 千円	
目的	生涯学習に関する区内の各種情報（講座・施設・指導者・グループ等）を各生涯学習施設から集約し、インターネット上で検索できる「生涯学習情報提供システム」と、生涯学習センター、地域学習センター、総合スポーツセンター、屋内プール等の施設情報等を公開する「各施設ホームページ」の運用を受託する。「生涯学習情報提供システム」では、区民が求める情報及び区民の関心や理解を深める特集を企画・公開し、区民の生涯学習への取り組みを推進する。		
22年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
生涯学習情報提供システム「まなポー☆」企画更新（特集3回含む）	毎月2回	24回	
各施設ホームページによる情報提供	毎月1回	12回	

(4) ジュニア吹奏楽団支援		予算額	
		4,771 千円	
目的	<p>足立区の音楽文化向上を図り、生涯にわたり音楽を愛好する情操豊かな児童を育成するジュニア吹奏楽団の支援事業を受託する。</p> <p>公社は、団体行動を通じ参加児童の健全育成をはかるとともに、定期演奏会をはじめ、区内の各イベント等への出演を調整し、地域への音楽普及活動、音楽文化の裾野の拡大に貢献する。</p>		
22年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
<p>楽団及び楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進。</p> <p>指導者謝礼補助</p> <p>楽器等備品購入</p> <p>楽譜等消耗品購入</p> <p>通信運搬費補助</p>	通年		<p>島根小(練習)</p> <p>西新井文化ホール (定期演奏会)</p> <p>その他区内での 派遣演奏会場</p>

【 1～5 公益目的事業に対する人件費 】

公益目的事業に対する人件費		予算額	
		295,910 千円	
目的	定款第4条第1項事業：公益目的事業を実施する職員の人件費		
22年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
公益目的事業に従事する職員人件費	通年		

**6 足立区施設における自動販売機設置事業  
(定款第4条第2項第3号事業) 【収益事業】**

(1) 自動販売機		予算額	
		4,466 千円	
目的	足立区施設を利用する区民の利便性を図るため、飲料等の自動販売機を設置する。施設使用については、足立区から必要な許可を受ける。自動販売機は業者が設置する。光熱水費を業者から実費相当分を徴収し、区に負担金として納付する。また、売上の一部を手数料として徴収し、公益目的事業費にあてる。		
22年度の予定			
内容	実施時期		
自動販売機設置業務	通年		

**7 放送大学学園東京足立学習センターの運営等に関する事業  
(定款第4条第2項第1号事業) 【その他の事業1】**

(1) 放送大学学園東京足立学習センターの運営等に関する事業		予算額	
		4,988 千円	
目的	放送大学東京足立学習センターは、区民が身近で高等教育を受ける機会を提供するため誘致した施設である。生涯学習の推進を目的とする公社が同センターの総務的業務(公印の保管等の事務、職員の任用その他人事に関する事務、広報に関する事務など)を行っている。		
22年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
東京足立学習センターの事務局事務	通年		東京足立学習センター
広報に関する事務	通年		
面接授業に関する事務	通年		
単位認定試験の実施に関する事務	通年		

**8 足立区から受託する生涯学習施設の管理に関する事業  
(定款第4条第2項第2号事業) 【その他の事業2】**

(1) 生涯学習施設の管理に関する事業		予算額	
		130,834 千円	
目的	生涯学習施設において、クーラーや非常用照明の故障など、緊急に修繕の必要が生じた場合は、1件あたりの工事費が原則10万円以上から130万円以下の修繕を実施する。生涯学習施設における区民の安全と利用環境の保持を図ることを目的とするものである。当事業は区との年間契約によって実施しており、工事の発注に際しては、入札、見積もり合わせ等、区に準じた契約手続きにより修繕を行っている。		
22年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
生涯学習施設の緊急修繕	通年		区内生涯学習施設

**9 その他前号に定める事業に関連する事業  
(定款第4条第2項第4号事業) 【法人会計】**

(1) 公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営		予算額	
		63,826 千円	
目的	公益財団法人足立区生涯学習振興公社を運営するため共通的庶務事務を実施する。また、自主事業を安定して継続するため、基本財産等の安全確実な資産運用を行う。		
22年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
職員等の給与システムの運営	通年		公社事務局
経理・契約システムの運営	通年		
基本財産等の管理及び運用	通年		
理事会及び評議員会の開催	5、11、2月		

## 公社概要

公社名 公益財団法人足立区生涯学習振興公社  
設立 平成 5年 2月1日 (平成12年4月1日名称変更)  
公益認定 平成21年10月1日公益財団法人  
基本財産 15億円  
代表者 理事長 鯨井 利昭  
職員数 54名 (定数)  
常勤34名 (派遣10名、固有24名)  
再任用1名 非常勤19名  
住所 〒120-0034 東京都足立区千住五丁目13番5号 学びピア21  
ホームページアドレス <http://www.kousya.jp/tokimeki/>

## 組織図

(決議機関)

評議員会

(監査機関)

監事

(執行機関)

理事会 ——— 理事長 ——— 副理事長  
(代表理事) (業務執行理事)

(事務局)

